

# けんこうニュース

発行所

**奥津医院**  
南足柄市生駒381  
電話 0465-74-0024  
発行人 奥津紀一

## 糖尿病週間はじまる

十一月九日～十五日は全国糖尿病週間です。

これに合わせて、足柄医師会も糖尿病に関する行事を行います。

十一月五日

医療セミナー最終日

「糖尿病を楽しもう」と題して当院長が講演しました。

十一月二十日

足柄上医師会学術講演会

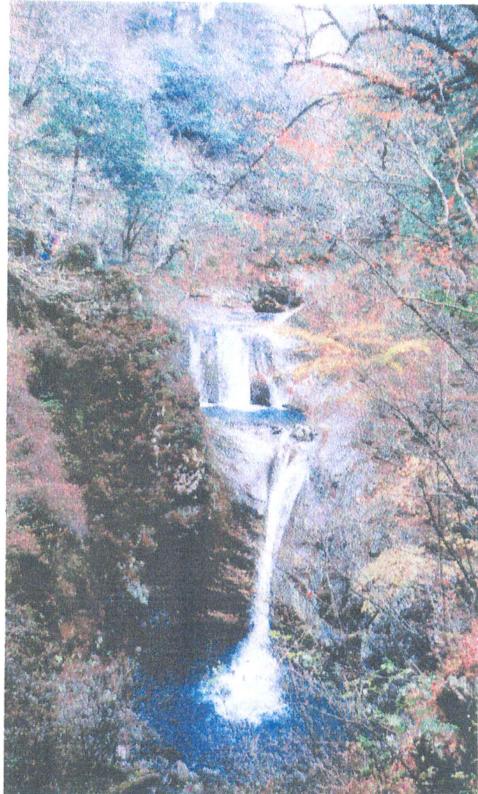
外来で行うインスリン療法と

順天堂大学教授

河盛隆造先生

の講演会があります。

その他例年のように当地区糖尿病の実態を調べるための統計調査、アンケート調査を行います。糖尿病患者で今年一回も検査を受けていない方や糖尿病についての検診や相談があります。したらお受けいたします。この期間眼底写真は眼科医がよく見てくれるようになります。ご希望の方はお申し出下さい。



晩秋の西沢渓谷



十月二十四日より二泊三日でハウステンボス・長崎市内観光をしました。好天に恵まれ大変楽しい旅行となりました。

ハウステンボスは、オランダの街並みを再現して環境保全を大事に考えた美しい場所です。チーズ作りや、オランダ独自の値下げオーナーなど普段では味わえない貴重な体験ができました。宿泊したホテルでは落ちていた雰囲気の中ゆったりとしたひとときを満喫しました。二日目に長崎市内に向かつたグループは西海橋を渡りオラ



アーチェイで上がりながらの移り変わる夜景はすばらしかった。三百六十度を見渡せる山上の展望台からは、香港の夜景とはまた違った風景を楽しめてほんとうに楽しかったです。

その後長崎の夜景を見るため稻佐山に向きました。ロープウェイで上りながらの木事業、建設や設備投資が街並みを再現して環境保全を行いましたがこれらは効果が期待できません。

これまで不況対策として土建事業、建設や設備投資が行われてきましたがこれらは効果が期待できません。

株価下落、金融不安、景気の低迷が続いています。こんな中で、政府や自治体は医療や福祉への出費を減らし、個人負担を増す方向の政策をとっています。

**職員秋の慰安旅行  
ハウステンボスと長崎市内**

**湧言飛語**



院長

事業、省エネに関する事業を発展させることを軸にして少しづつでも日本の経済を改善して行かなければなりません。

日本の社会が大量消費型の社会から省エネ型社会に移行しつつあるのです。

この時点で、また今後必要と考えられるのは高齢化社会への対策、環境保全のためのリサイクル事業、省エネルギー対策などではないでしょうか。

日本は社会が大量消費型の社会から省エネ型社会に移行しつつあるのです。